

安心して暮らせるまち

市民協働のまちづくり

令和4年2月に行われた第157回うるま市議会定例会に

おいて令和4年度の施政方針が発表されました。

うるま市の進む未来や今後の取り組みをお伝えします。



01 はじめに

本日、第157回うるま市議会定例会が開催されるにあたり、令和4年度予算案をはじめとする各議案の説明に先立ちまして、私の市政運営に対する所信と主要事業の概要を申し上げます。

昨年は、皆様もご承知のとおり新型コロナウイルス感染症への対応・対策に奔走する1年となりました。

新型コロナウイルスによりお亡くなりになられた方々、ご家族の皆様にご配慮いただき、ご迷惑を蒙りながら、苦しい状況に置かれていた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

また、感染リスクと闘いながらも現場を支えてくださっている医

療・福祉従事者の皆様、長期にわたり我慢を強いられている事業者の皆様、そして、感染症を共に乗り越えようと頑張っている全ての皆様のご尽力に対し、深く感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスの接種については、全人口に対する2回目の接種率が67%を超え、また、12歳以上の接種可能人口に対する2回目の接種率は77%を超えており、皆様のご協力も相まって感染リスクの軽減及び重症者数の抑制等に一定の効果があったと認識しております。

しかしながら、新たな変異株の出現など、新型コロナウイルスを取り巻く状況は予断を許さず、感染拡大防止及び重症化予防の観点からも、引き続き1回目・2回目

の接種体制を確保するとともに、3回目の接種を押し進め、接種率の向上を目指します。

また、5歳から11歳までの小児接種に際しては、より丁寧で安心・安全な接種体制の構築に努めてまいります。

02 昨年の振り返り

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の他にも、様々な出来事がございました。

水産業関係では、小笠原諸島の海底火山噴火で噴出した大量の軽石が本市の海岸・港湾内にも漂着し、養殖魚の大量死や漁船の出漁が滞り、モズク養殖等にも大きな被害を受けました。これに対し、本市では漁船の故障防止を図るため、資材購入費の補助を行うことと

8月には、福祉部障がい福祉課の障がい支援係を第1係と第2係に分離し、2係を新設しました。これにより、事務の効率化・業務改善を行い、市民サービスの強化を図ってまいります。

9月には、組織の機構改革と人事配置の連携を強化するため、企画部企画政策課の行革推進係を総務部職員課に所属変更しました。

10月には、令和4年8月に予定している通称「うるまこどもステーション」の供用開始に向けて、こどもステーション整備室を新設するとともに、関係部署の職員で構成されるプロジェクトチームを設置しております。

また、昨年7月と本年1月には、企画部にプロジェクト推進1課及びプロジェクト推進2課をそれぞれ設置し、現在進行中の勝連城跡周辺整備に関する事業や、総合アリーナ整備事業等を含め、重要政策及び本市のまちづくりを強力に推進する体制の構築を行いました。

本年度は、このような組織体制の見直しを行いました。次年度も効率的な行政運営を行うべく機



もに、国や県へ財政面での早急な支援を要請いたしました。

米軍関係では、本市津堅島の住宅密集地に隣接する農地に米軍ヘリが不時着し、島民に不安を与えました。また、米陸軍貯油施設から有機フッ素化合物PFOSを含む汚染水が流出し、地域環境及び市民の健康被害への影響が危惧されました。市としては、市民の生命・財産を守り、安心・安全な生活環境を確保する立場から、米軍に対し厳重に抗議いたしました。

今後も引き続き、基地の整理縮小及び日米地位協定の改定に向けて、国や県に対して主張してまいります。

一方、昨年は大変良いニュースもありました。

スポーツ関係では、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、車いすマラソンに本市在住の喜納翼選手が出場し、7位入賞を果たしました。その功績を讃え、うるま市誕生後初の市民栄誉賞の授与を行いました。次のパリ2024パラリンピック出場を目指し、更なる活躍を期待いたします。

また、具志川商業高校野球部の甲子園出場や、本市出身であるタイシンガーブランドン大河選手の出

西武ライオンズへの入団をはじめ、様々なスポーツ、文化活動等多くの学生・児童・生徒の皆様が活躍し、本市に明るいニュースを届けてくれました。

観光・文化関係では、歴史文化資源の保全、観光振興を目的としたあまわりパーク歴史文化施設及び観光ターミナルが世界遺産「勝連城跡」周辺にオープンいたしました。

また、本市出身のアーティストであるHYの皆様が観光大使に就任されたことや、東照間商業施設がリニューアルし、うるま市の新たなランドマークとなるTERUMAS east coastが10月にオープンしたこと等も本市の魅力として併せて発信することで、観光産業を通じた地域活性化が図られるものと期待しております。

03 市政運営に対する基本姿勢

さて、私は昨年5月からうるま市3代目市長に就任して以降、本市の課題に効率的かつ弾力的に対応できる体制づくりを行うべく組織改編を重ね、全庁的に強化を図ってきたところであります。

まず、昨年6月には、市民の生

